

女川町は総量で44万4千ト。可燃物6万トは東京都で広域処理している。約5万ト。総量に対して40%強の処理は完了している。

在宅被災世帯
健康生活調査

外出頻度などに関連

「生きる希望」大きな開き

石巻医療圏健康・生活復興協議会（武藤真祐代表）は、4―8月に石巻市内の在宅被災世帯を対象に行った戸別訪問聞き取り活動の実績をまとめ、先日にも市水明北の祐コミュニティホールで関係者

・大街道、山下、石巻
・門脇、湊、渡波・荻浜地区など5441世帯を訪問。在宅3081世帯のうち、2103世帯で聞き取り調査を行い、健康・生活面での専門的なサポートにつなげている。

への報告会を開いた。被災により「生きる希望がない」と答えた人の割合は、地区によって5倍近い開きがあったほか、独居や外出・運動の頻度、頼れる人がいないと答えた人に関連がみられた。

震災前と比べて収入に変化があった世帯は、荻浜で最大の57・1%、山下で最も少ない27・6%。全体平均で37・4%となっており、被災による廃業や解雇になった状況がうかがえた。住家は全体の51%

4月からの5か月が補修予定がないか、または自己補修を予定で、石巻市の住吉、釜

16か所に減少。
順調に進んでいる一
方で、最大の被災地
である石巻市では排出量
が膨大で、自治体単独

での処理では復興にさ
らなる遅れが生じてし
まう。引き続き、国や
県とともに懸念される
放射性物質の安全性を
示し、広域処理への協
力を求めていく必要が
ある。

が高かった。

石巻・門脇では1週間の外出が2回以下の割合が57・1%（全体26%）、こころの健康状態テストによる「要注意」が16・9%（同10・5%）、「生きる希望がないと思うことがある」が11・7%（同

「震災後は近所付き合
いがなくなつた」など
の理由が背景にあるよ
うだ。全体の集計で「頼
れる人がいない」と答

を康報ト政協がが人え

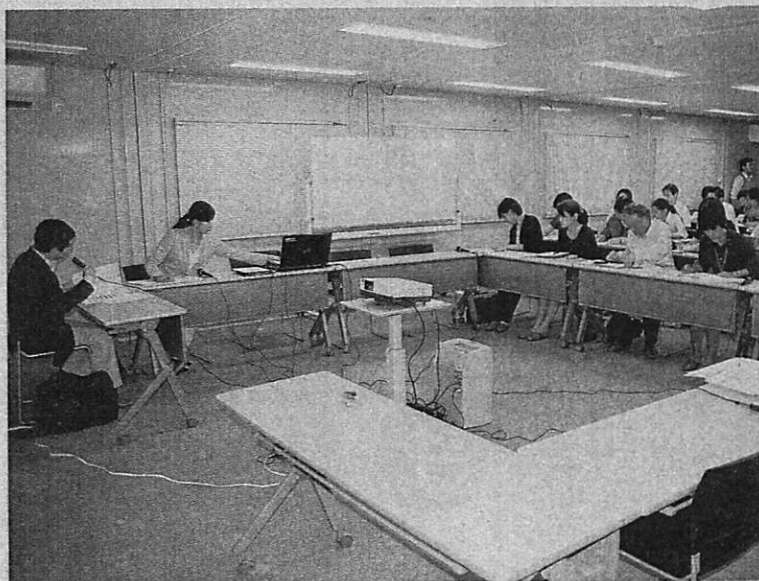
定。「金がない」「暮らせれば直さなくてもいい」「先も長くない」などの理由が聞かれ、とくに北上で75%、石巻・門脇で60%と割合

東海林内科胃腸科

石巻市門脇字二番谷地13-562 ☎96-2823

日本消化器内視鏡学会専門医

- 平日/AM9:00~PM0:00
PM2:00~PM6:00
- 土曜/AM9:00~PM0:30
木曜午後・日・祭日休み



石ま

知得

76

石卷并

シワツピリ

「オライの 爺つあん シワッピリだ」
ケチ、儉約家のことを石巻弁では、シワッピリと言います。スワッピリとも発音されます。略して、ピリだけでもケチの意味。語源は江戸語の「しわい」。ピリは、強調の接尾語です。

ます。これは
いう意味の、イ
語が名詞化して
という儉約家の
のです。

「コミジとい
します。江戸話
らしい。昭和
「巻弁」には「
めだ しんし
いう例文が掲
ケチという
ものですね。

（石巻市文化
渡波法音寺

さらに、シピタレという語もケチの意味。標準語の「しみつたれ」が訛ったもの。以前取り上げたマデという語も同意。強調すると、マデカスでしたね。 ※毎月第1回は10月1日でも毎月第2から10分間、を放送中。